

第14回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第1問〕 解答にあたっては、それぞれ200字以内(句読点含む)で記入すること。

問1

	10	20	25
5	基準操業度には、①次期予定操業度、②長期正常操業度、③実現可能最大操業度の3つがある。①は、対象期間に現実に予定される操業度であり、単年度のキャパシテイ・コストを当該期間の生産品に全額吸収させる方法である。②は、数年間の平均化された操業度であり、長期のキャパシテイ・コストを当該期間にわたる生産品に吸収させる方法である。③は、経営の有する能力を正常状態で最大限に発揮したときに期待される操業度である。		

問2

	10	20	25	
5	品質適合コストは予防コストと評価コストに、品質不適合コスト（失敗コスト）は内部失敗コストと外部失敗コストに分類される。予防コストは設計仕様に合致しない建造物の施工を防ぐために発生する原価であり、評価コストはそれを発見するために発生する原価である。また、内部失敗コストは発注者に引き渡す前の施工段階で、外部失敗コストは発注者に引き渡した後で、欠陥や品質不良が発見された場合に生じる原価や損失である。			

〔第2問〕

記号(ア～シ)

1	2	3	4	5
コ	ク	イ	オ	キ

〔第3問〕

問1 ￥ 問2 ￥ 問3 ￥ 問4 ￥

記号(XまたはY)

第14回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第4問〕

A製品

月末仕掛品原価 ￥ 当月完成品原価 ￥

B製品

月末仕掛品原価 ￥ 当月完成品原価 ￥

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書	
自 平成×3年9月1日	
至 平成×3年9月30日	
青森建設工業株式会社	
(単位：円)	
I. 材料費	670,820
II. 労務費	388,710
III. 外注費	435,520
IV. 経費	493,558
(うち人件費 278,578)	
完成工事原価	1,988,608

問2

￥

問3

- | | | | |
|---------------|--------------------------------------|-----------|--------------------------------|
| ① 材料副費配賦差異 | ￥ <input type="text" value="425"/> | 記号(XまたはY) | <input type="text" value="X"/> |
| ② 重機械部門費操業度差異 | ￥ <input type="text" value="2,120"/> | 記号(同上) | <input type="text" value="X"/> |